

問

代表・一般質問は平成15年9月22日・24日・25日に開会した第3回定例会本会議で行いました。

代表・一般質問

議案の審議に先立ち、各会派を代表する10名の議員が、区政全般について質問を行い、区政執行に当たる区長をはじめ執行機関の考えを尋ねました。
以下、その一部を掲載します。

足立区議会自由民主党



くしらい 光治 議員

「NPO支援1%システム」について

【問】民間の持っている力を生かし、伸ばし、広げることも人間力向上につながる。特に、NPOなどへの支援はそれらの活動に携わる方の意欲を高めることにつながると思うが、「NPO支援1%システム」の検討状況はどうか。また、その狙い、仕組みについて伺う。

【答】現在、仕組みの詳細などを検討している。

この「NPO支援1%システム」は、住民各自の住民税額の1%分についてどのような分野に使いたいかの意見を募るもので、自ら選んだNPO活動を支援することで、希望する行政サービスの実現を図るものである。このことは、身近で恒常的な住民参加の仕組みを整えることにより、納税者主権の意識を高揚させ、新しい公共の協働相手であるNPO活動の推進を目的としている。区政透明化計画について

【問】区長は、東京で5つのナンバーワンを目指すとし、その一つとして区政透明度の向上をあげている。求められてからの情報提供ではなく、求められる前の情報提供に転換するとしている。具体例として区長交際費の全面公開を掲げている。この点については、プライバシー保護との問題があると思うが、ど

のように考えているのか伺う。

【答】区政透明化計画では、基本視点として情報の積極的公開をあげているが、情報公開とプライバシー保護は対立する概念ではなく、むしろ徹底した情報公開がプライバシー保護を強化していく側面があると考えている。情報公開の際には、個人のプライバシーの保護に十分対応した上で進めていく。

地域の治安、区民生活の安全について

【問】区では、都の条例が施行される1年半も前に生活安全条例を施行している。

しかし、区内の犯罪発生状況は「ひったくり」「車上狙い」等の、区民生活に身近な犯罪が多く見られ、区民の安全体感は著しく減少している。警察、消防等関係機関との連携強化を含め、区・関係機関・地域が一体となって防犯に取り組むことへの区長の決意を伺う。

【答】防犯を警察だけに任せておけば事足りた時代ではなく、自分自身で守る」という安全意識の高揚を図っていくこと、また区民が自主的に防犯活動に取り組んでいただけるような仕組みをつくること、さらに警察や消防などの関係機関の連携を強化なものにすること。このようなことを区が総合的に行うことで犯罪のない「安全で安心な足立区」を創っていくこと、これが防犯に対する決意である。

公立保育園の民営化について

【問】区は、今年度中に次世代支援育成行動計画の策定をするなど、区長の子ども施策への意気込みは高く評価する。このたび区は公立保育園の民営化を示したが、民営化によってどのくらい経費節減ができるのか。

また、節減できた経費で今後の子育て支援策の充実をどのように図るのか伺う。

【答】施設の規模により格差があるが、定員100名規模の園では約6千万円と見込んでいます。この経費の一部を活用して、今後、子育てサロンの区内拡充や、乳幼児を持つ保護者が誰でも利用できる訪問型一時保育事業の創設など、子どもを持つ全ての家庭が利用できる事業に取り組んでいく。

粗大ゴミの無料自己持込み制度について

【問】本年5月にスタートした無料自己持込み制度は、好評のうち4ヶ月が経過した。無料というインセンティブが区民を動かし、結果として財政負担を軽くする本制度は、市場性に着目したりサイクルシステムとしての注目を集めている。現状ではどのくらいの区民が直接持込み制度を利用しているのか伺う。

また、現在は持込み場所が西部地域の1箇所であるが、これを増設する考えはないか伺う。

【問】夏季休業が学期の途中になる利点を活かし、休業前に三者面談を行い、子どもたちの学習状況を振り返り、課題に取り組ませ、教員が指導にあたる。

また、夏季休業前の家庭訪問では、休業中の学習や生活面へのアドバイスを保険者に行い、子どもたちの学習意欲を高める努力もできた。

【問】足立区では、全国ではじめての学校理事会を設置し、活発に運営がされている。これまでの活動を通じて当初は民間からの校長の登用を予定していたが残念な結果になった。全国では、民間から校長を登用しているケースがどれくらいあるのか。

また、足立区では導入の考えはあるのか伺う。

【答】平成13年度に鉄道高架化に関する調査を行ったが、内容並びにその結果についてどのようになっているのか伺う。

【答】道路を高架とした場合と鉄道を高架とした場合の比較検討を行った結果、一体的なまちづくりとの整合の面から、鉄道高架化による立体系が優位であることを技術的検討により確認したところである。

2期制について

【問】区教委は16年度から2期制を全校実施するとし、14年度は2校、15年度には9校を指定し調査研究をしている。2期制の導入により、子どもたちの生活は具体的にどう変化するのか、夏休みはどのような変化があるのか。また、親はどのような心配が必要となるのか伺う。

【答】夏季休業が学期の途中になる利点を活かし、休業前に三者面談を行い、子どもたちの学習状況を振り返り、課題に取り組ませ、教員が指導にあたる。

また、夏季休業前の家庭訪問では、休業中の学習や生活面へのアドバイスを保険者に行い、子どもたちの学習意欲を高める努力もできた。

【問】足立区では、全国ではじめての学校理事会を設置し、活発に運営がされている。これまでの活動を通じて当初は民間からの校長の登用を予定していたが残念な結果になった。全国では、民間から校長を登用しているケースがどれくらいあるのか。

また、足立区では導入の考えはあるのか伺う。

【答】平成15年4月現在、全国の公立学校には58名の民間人校長がいる。今後、民間人校長の登用を検討していきたい。

北千住のまちづくりについて

【問】北千住駅西口前に設置予定の大型ビジョンは、新たな名所として、また、西口駅前の目印となり、賑わいのシンボルとなり得る可能性を秘めている。区全体のイメージアップ等に見えない効果があると期待している。区は地元の期待と、その効果について、どのように考えているのか伺う。



渡辺 比呂 議員

【答】大型ビジョンは区の情報発信の拠点となり、新たな名所として多くの区民や来訪者に親しまれ、区のイメージアップに寄与すると考えている。

また、地元商店街の期待も大きなものがあると承知している。

【問】現在、駅前の違法駐輪はひどく駅前のみならず周辺に及んでいる。利用者のモラルの問題もあるが、導入が予定されている循環型コミュニケーションバスに大きな期待を寄せている。

北千住駅西口全体の交通ネットワークについて区はどのように考えているのか伺う。

【答】西口再開発オープンに合わせ、区画街路2号、3号、4号及び都道449号線整備により北千住駅西口に集中発生する交通の分散と渋滞の解消を図っていく。

なお、都市計画道路補助118号線及び地区幹線道路の整備について検討していく。

また、バス交通ネットワークの一環として北千住駅西側地域循環バス(はるかぜ)の運行の認可が運輸局からあり、10月1日から運行する。

教育改革について

【問】「がんばる学校推奨制度」は意欲を持って学校運営、教育課題に取り組む学校・教員に新たなモチベーションを与え得ると期待している。現時点での申込状況と具体的事例を示せ。



また、地元商店街の期待も大きなものがあると承知している。